

【概要】

博士人材の活躍状況を把握するため、科学技術・学術政策研究所では博士人材データベース(JGRAD: <https://jgrad.nistep.go.jp/>)を構築・運営している。本稿は2020年3月～5月にかけてJGRADの登録者に実施したウェブアンケート調査「教育プログラムへの満足度等に関する調査」の結果をとりまとめたものである。

(1)調査対象者

2020年3月25日時点でJGRADに登録している博士課程在籍者および博士課程修了者・退学者のうちメールアドレスが記入されている全員に調査を行った。なお、本稿においては、博士課程修了者と退学者を合わせて博士課程修了者等と表記する。

※ 2014年より整備を進めているJGRADは2020年3月において、49大学(国立大学35、公立大学8、私立大学6)が参加していた。なお、一部の研究科・プログラムのみが参加している大学もあり、全研究科参加は27大学であった。

(2)調査方法

調査依頼を電子メールで調査対象者全員に送付し、JGRADのウェブサイト上に設置したウェブアンケート(博士課程在籍者向け調査票または博士課程修了者等向け調査票)に回答を求めた。なお、調査依頼は日本語と英語を併記し、ウェブアンケートの調査票は日本語版と英語版を選択できる形式とした。

(3)調査期間

2020年3月26日～2020年5月22日(当初4月30日を締め切りとしたが、延長)

(4)回答者数

調査依頼メール送信の対象者数:21,207名

調査期間中のJGRADへのログイン者数:1,918名

回答者数:1,514名(博士課程在籍者866名、博士課程修了者等648名)

調査依頼メール送信対象者数に占める回答者数:7.1%

調査期間中のログイン者数に占める回答者数:78.9%

(5)アンケート調査内容

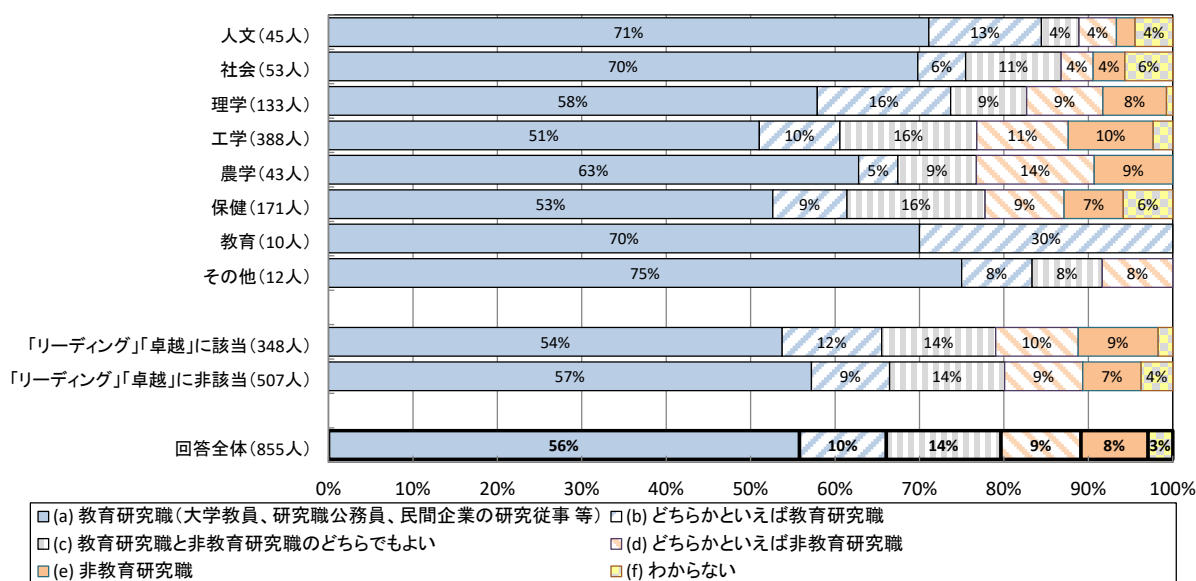
- ・ 博士課程に進学した理由(博士課程在籍者のみ)
- ・ 博士課程修了後に希望する就職先(博士課程在籍者のみ)
- ・ 博士課程教育の現在の職務への寄与(博士課程修了者等のみ)
- ・ 博士課程で身につけたい能力/身についた能力(在籍者・修了者等共通)
- ・ 博士課程の専門分野に関する満足度(在籍者・修了者等共通)
- ・ 博士課程で印象に残ったこと(博士課程修了者等のみ)
- ・ 博士課程の専門分野以外に関する満足度(在籍者・修了者等共通)
- ・ 博士課程教育関連プログラムに関する満足度(在籍者・修了者等共通)
- ・ 博士課程のプログラム全体の満足度(在籍者・修了者等共通)

- I. 本稿の調査結果は日本語調査票への回答と英語調査票への回答を合算し、JGRADのデータベースに記録されている属性情報と照合し、集計したものである。
- II. 本稿で示す専攻分野は学校基本調査を参考に、各回答者が在籍した博士課程の研究科に基づく[人文(科学)][社会(科学)][理学][工学][農学][保健][教育][その他]である。
- III. 博士課程在籍者は「博士課程教育リーディングプログラム」「卓越大学院プログラム」の該当・非該当に区分した。また博士課程修了者等に関しては、博士課程の在学時における「博士課程教育リーディングプログラム」の該当・非該当に区分した。
- IV. 博士課程修了者等に関しては、JGRADに記録されている所属機関の情報に基づき[回答時に「大学等」に所属][回答時に「民間企業」に所属]に区分している。なお、回答時の所属機関が大学等、民間企業のいずれにも該当しない場合および回答時の所属機関が不明な場合は、当該回答は2種の区分のいずれにも含まれない。

(1)博士課程修了後に希望する職種<博士課程在籍者>

概要図表1は、博士課程在籍者における博士課程修了後に希望する職種に関する属性別回答割合である。博士課程在籍者の回答全体では、[回答(a) 教育研究職(大学教員、研究職公務員、民間企業の研究従事 等)]と[回答(b) どちらかといえば教育研究職]の合計割合が66%(855人のうち565人)となっていた。

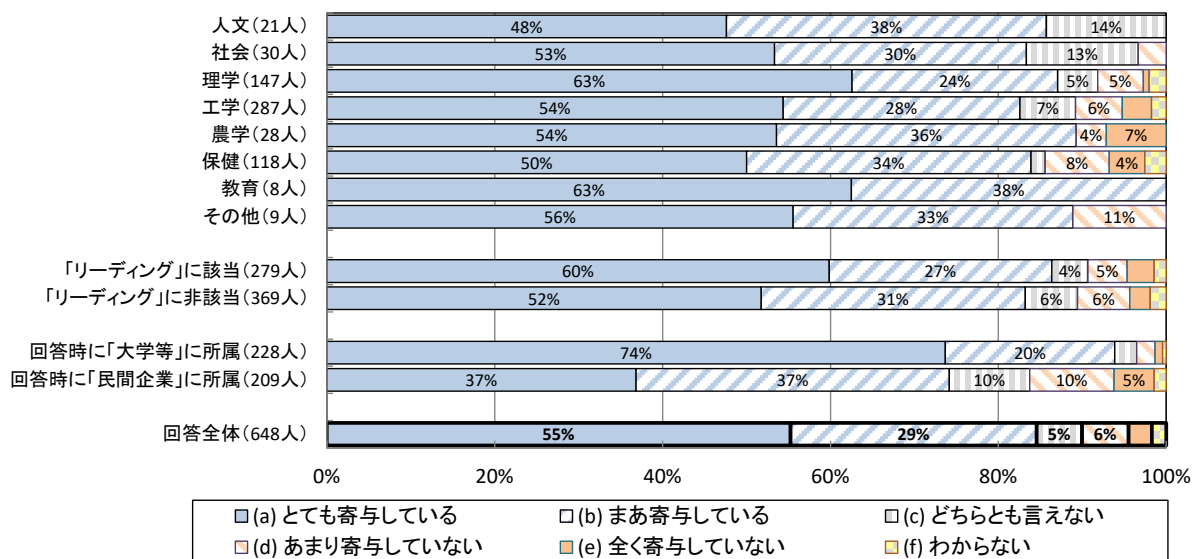
概要図表 1 属性別：博士課程修了後に希望する職種の回答割合<博士課程在籍者>



(2)博士課程教育の現在の職務への寄与<博士課程修了者等>

概要図表 2 は、博士課程修了者等における博士課程教育の現在の職務への寄与の属性別回答割合である。回答全体では、[回答(a) とても寄与している]と[回答(b) まあ寄与している]の合計割合は 85%(648 人のうち 548 人)となっていた。

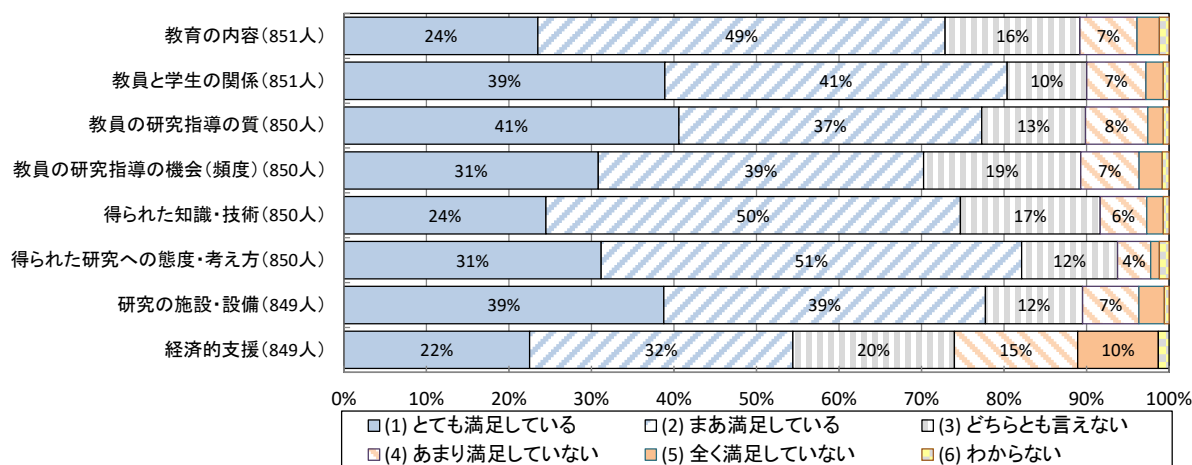
概要図表 2 属性別：博士課程教育の現在の職務への寄与の回答割合
〈博士課程修了者等〉



(3) 博士課程の専門分野に関する満足度

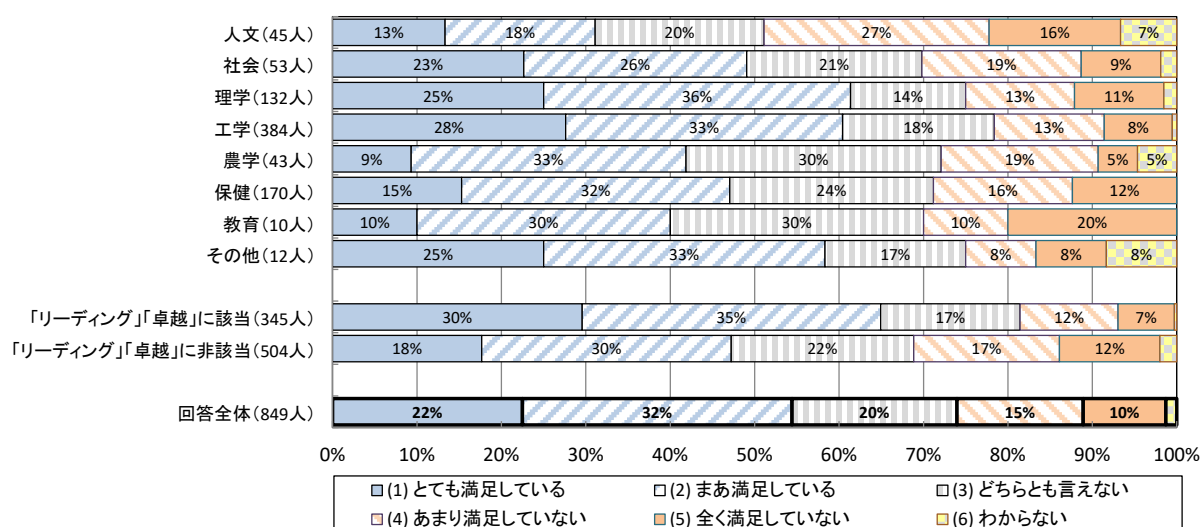
博士課程在籍者および博士課程修了者等に対して、博士課程プログラム(専門分野)に関する 8 つの側面の満足度を尋ねた。概要図表 3 は、博士課程在籍者の博士課程プログラム(専門分野)に関する各満足度の回答割合である。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは得られた研究への態度・考え方 の 82%(850 人のうち 698 人)であった。一方、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も低かったのは経済的支援 の 54%(849 人のうち 462 人)であった。

概要図表 3 博士課程の専門分野に関する各満足度の回答割合〈博士課程在籍者〉



概要図表 4 は、博士課程在籍者の博士課程プログラム(専門分野)における経済的支援についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 54%(849 人のうち 462 人)となっていた。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、「リーディング」「卓越」に該当]においては 65%(345 人のうち 224 人)である一方で、「リーディング」「卓越」に非該当]においては 47%(504 人のうち 238 人)であった。博士課程在籍者の経済的支援に関する満足度において[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、「リーディング」「卓越」の該当の有無によって、有意な差があった¹。

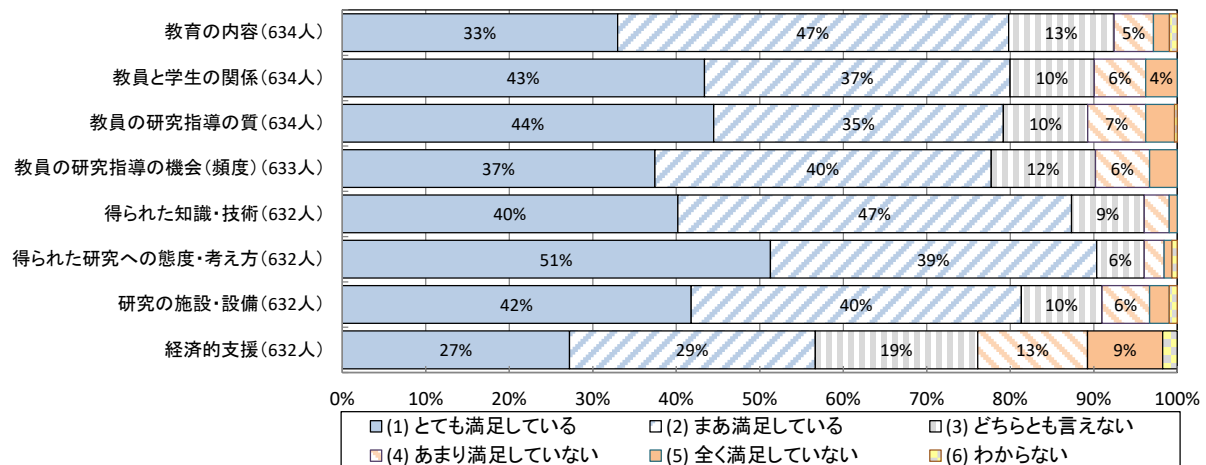
概要図表 4 属性別：専門分野における経済的支援の満足度<博士課程在籍者>



概要図表 5 は博士課程修了者等の博士課程プログラム(専門分野)に関する各満足度の回答割合である。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは得られた研究への態度・考え方の 90%(632 人のうち 571 人)であった。一方、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も低かったのは経済的支援の 57%(632 人のうち 358 人)あった。

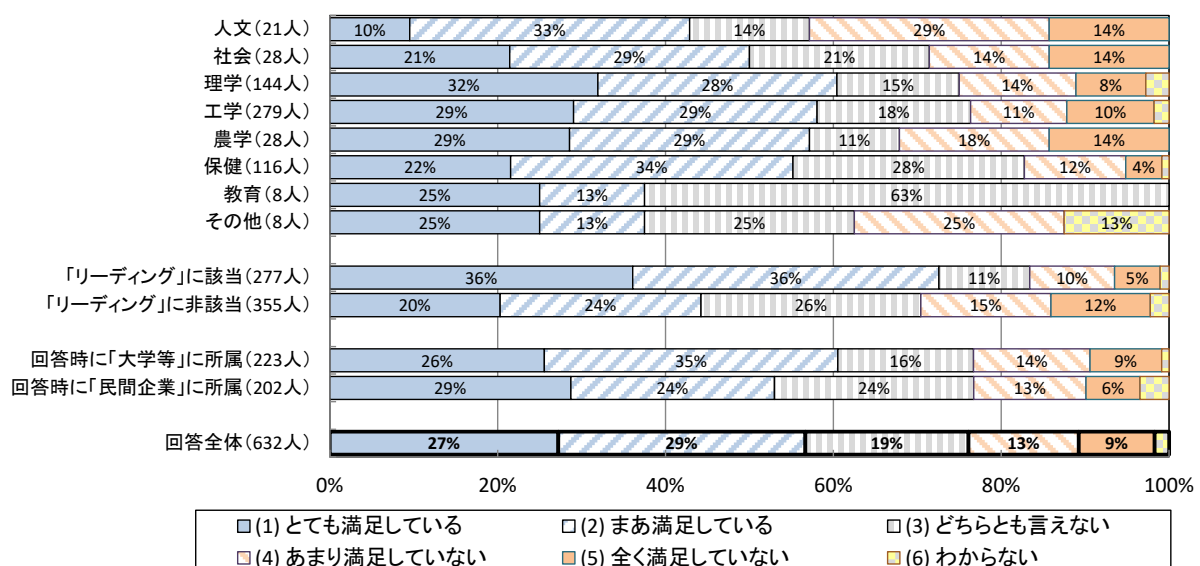
¹ 「リーディング」「卓越」に該当]と「リーディング」「卓越」に非該当]の二群において、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合とそれ以外の回答の合計割合によって母比率の差の検定を行ったところ z 値は 6.09 となり、両側 0.01%水準においても母比率が等しいという帰無仮説を棄却できる。

概要図表 5 博士課程の専門分野に関する各満足度の回答割合〈博士課程修了者等〉



概要図表 6 は博士課程修了者等の博士課程プログラム(専門分野)における経済的支援についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が 57%(632 人のうち 358 人)となっていた。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、「リーディング」に該当]においては 73%(277 人のうち 201 人)である一方で、「リーディング」に非該当]においては 44%(355 人のうち 157 人)であった。博士課程修了者等の経済的支援に関する満足度において[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、「リーディング」の該当の有無によって、有意な差があった²。

概要図表 6 属性別：専門分野における経済的支援の満足度〈博士課程修了者等〉

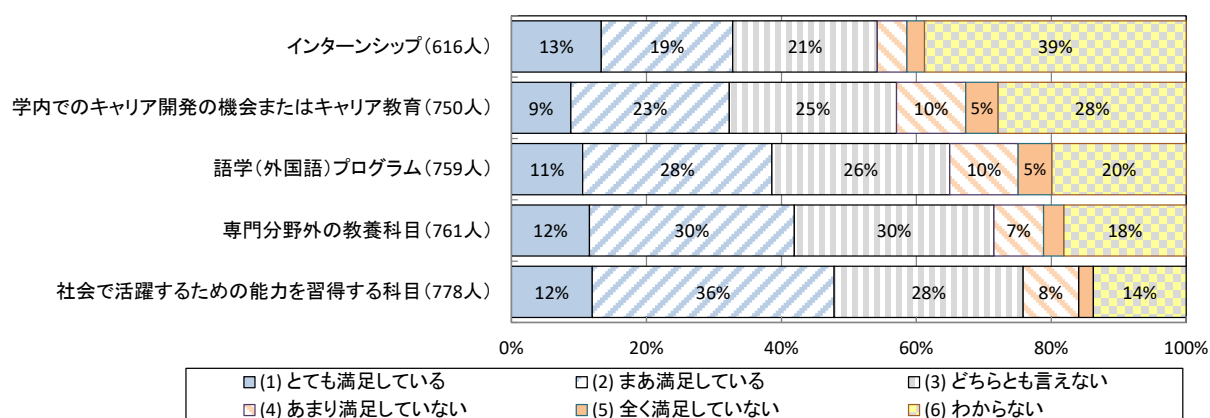


² 「リーディング」に該当]と「リーディング」に非該当]の二群において、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合とそれ以外の回答の合計割合によって母比率の差の検定を行ったところ z 値は 7.13 となり、両側 0.01%水準においても母比率が等しいという帰無仮説を棄却できる。

(4) 博士課程の専門分野以外に関する満足度

博士課程在籍者および博士課程修了者等に対して、博士課程プログラム(専門分野以外)に関する6つの側面の満足度を尋ねた。概要図表7は、[回答(7) 開講されていない・履修できない]を除いた博士課程在籍者の博士課程プログラム(専門分野以外)に関する各満足度の回答割合である³。概要図表7において[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目(例:研究倫理、プレゼンテーション講座等)の48%(778人のうち372人)であった。

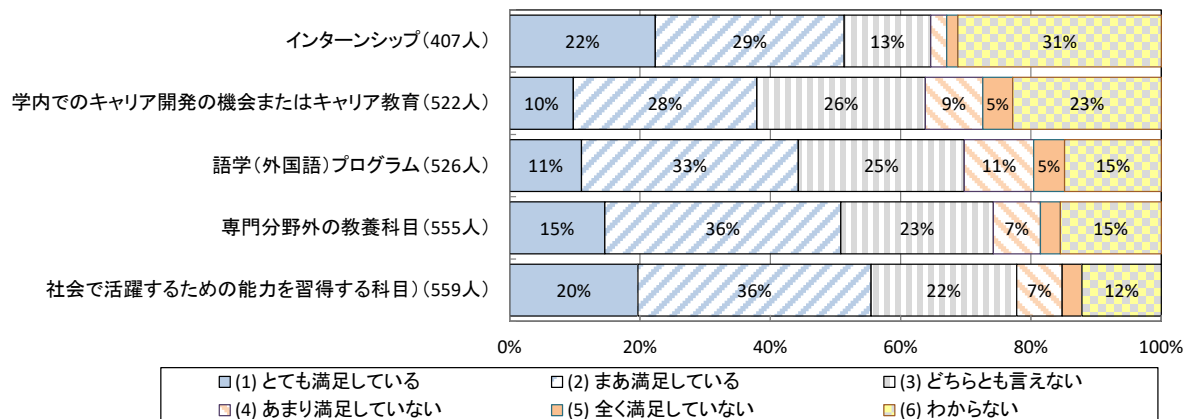
概要図表7 博士課程の専門分野以外に関する各満足度の回答割合
(博士課程在籍者([回答(7) 開講されていない・履修できない]を除く))



概要図表8は、[回答(7) 開講されていない・履修できない]を除いた博士課程修了者等の博士課程プログラム(専門分野以外)に関する各満足度の回答割合である。概要図表8において[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目(例:研究倫理、プレゼンテーション講座等)の55%(559人のうち310人)であった。

³ 概要図表7および概要図表8では表示を簡略化して、最下段の項目名を「社会で活躍するための能力を習得する科目」としているが、調査票における記載は「社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目(例:研究倫理、プレゼンテーション講座等)」であった。

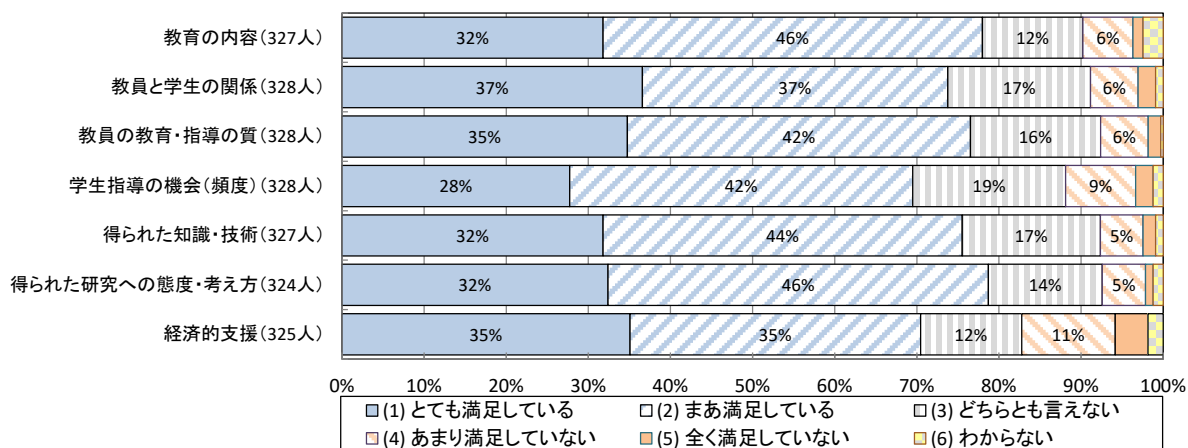
概要図表 8 博士課程の専門分野以外に関する各満足度の回答割合
 〈博士課程修了者等（[回答(7) 開講されていない・履修できない]を除く）〉



(5) 博士課程の教育関連プログラム(リーディング・卓越)に関する満足度

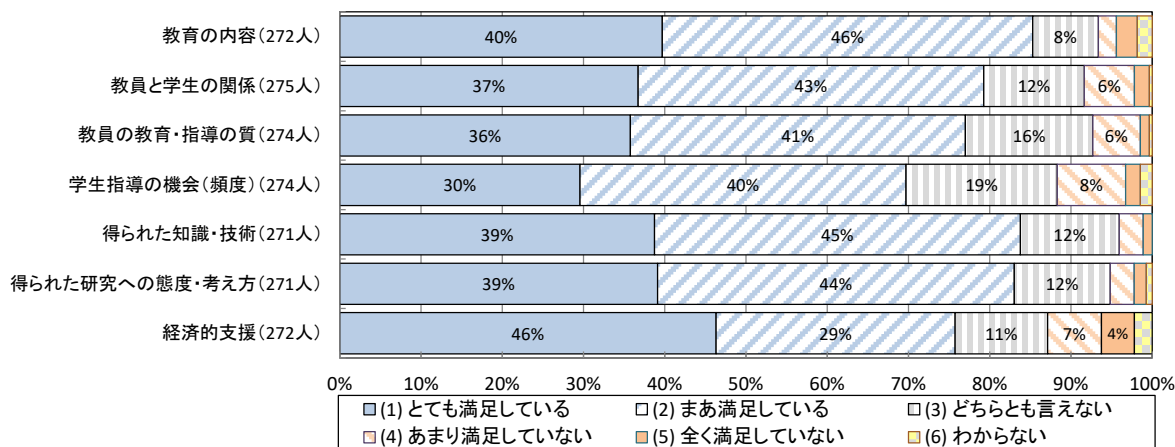
博士課程在籍者および博士課程修了者等に対して、博士課程教育関連プログラム（博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラム）に関する 6 つの側面の満足度を尋ねた。概要図表 9 は、教育関連プログラムに該当する博士課程在籍者の各満足度の回答割合である。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは得られた研究への態度・考え方の 79% (324 人のうち 255 人)であった。

概要図表 9 博士課程の教育関連プログラムに関する各満足度の回答割合
 〈該当する博士課程在籍者〉



概要図表 10 は教育関連プログラムに該当した博士課程修了者等の各満足度の回答割合である。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは教育の内容の 85% (272 人のうち 232 人)であった。

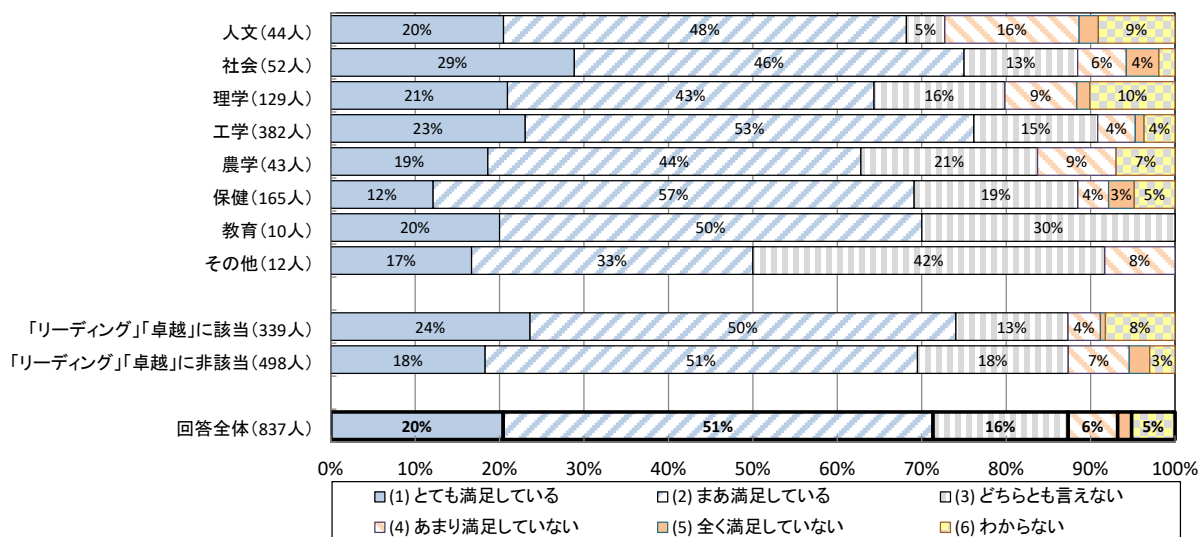
概要図表 10 博士課程の教育関連プログラムに関する各満足度の回答割合
〈該当した博士課程修了者等〉



(6) 博士後期課程のプログラム全体に関する満足度

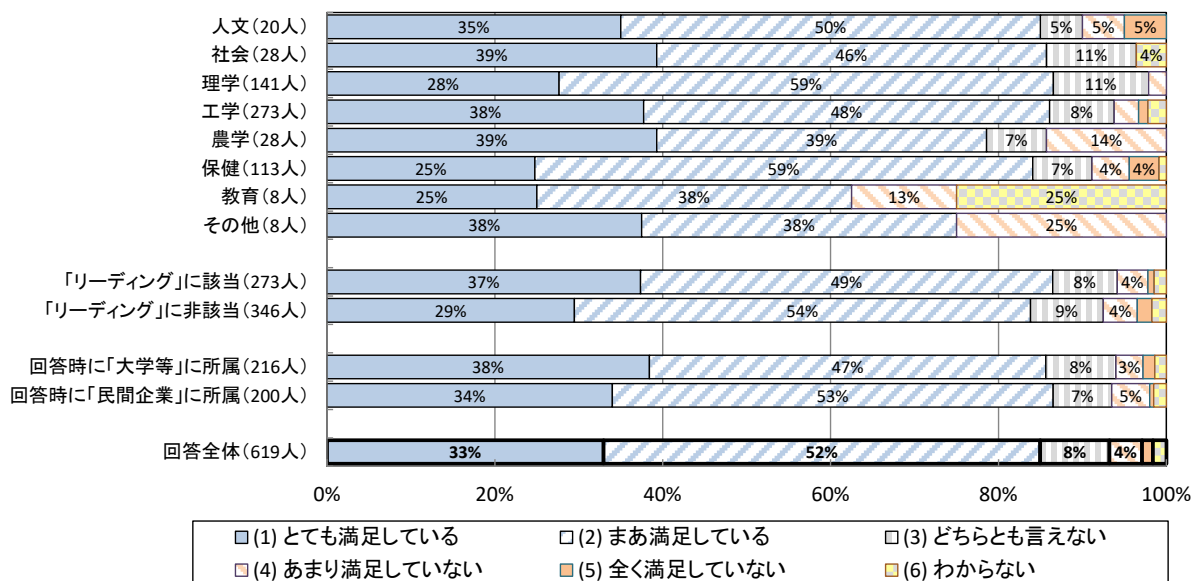
博士課程在籍者および博士課程修了者等に対して、博士後期課程のプログラム全体に関する満足度を尋ねた。概要図表 11 は、博士課程在籍者の博士後期課程のプログラム全体についての満足度に関する属性別回答割合である。概要図表 11 の回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 71%(837 人のうち 597 人)となっていた。

概要図表 11 属性別：博士後期課程のプログラム全体に関する満足度
〈博士課程在籍者〉



概要図表 12 は、博士課程修了者等の博士後期課程のプログラム全体についての満足度に関する属性別回答割合である。概要図表 12 の回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 85%(619 人のうち 526 人)となっていた。

概要図表 10 属性別：博士後期課程のプログラム全体に関する満足度
〈博士課程修了者等〉



※ 調査結果の図表では、四捨五入によるパーセンテージの整数表示によって、文中に記載している回答割合の合算値と一致しないケース、割合の合計値が 100 にならないケースが存在する。